

市議会

だより



仙北市議会3月定例会
予算常任委員会
一般質問
総務文教常任委員会

P2~3
P4
P5~11
P12

市民福祉常任委員会
産業建設常任委員会
「いきいき広場」・
議会の「桜プロジェクト」始動
控室・人事案件・編集後記

P13
P14
P15
P16

■生保内だしのこ園 入園式
(4/7 10:00~)

No.46



2017年5月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会



— 3月定例会 —

第1回定例会が2月23日から3月17日までの23日間の会期で開催され、平成29年度一般会計予算案等61件が審議された。各常任委員会の審議を経た議会最終日の本会議では一般会計予算案を修正可決、条例一部改正案

1件を否決、常任委員会で否決された条例案の一部を修正可決、角館総合支所JR角館駅前建設請願3件はそれぞれ総務常任委員会で不採択になり、本会議においても賛成少数で不採択になった。

351億8,030万円を可決 会計・企業会計163億2,560万円

平成29年度 特別会計・企業会計予算 (単位:千円)

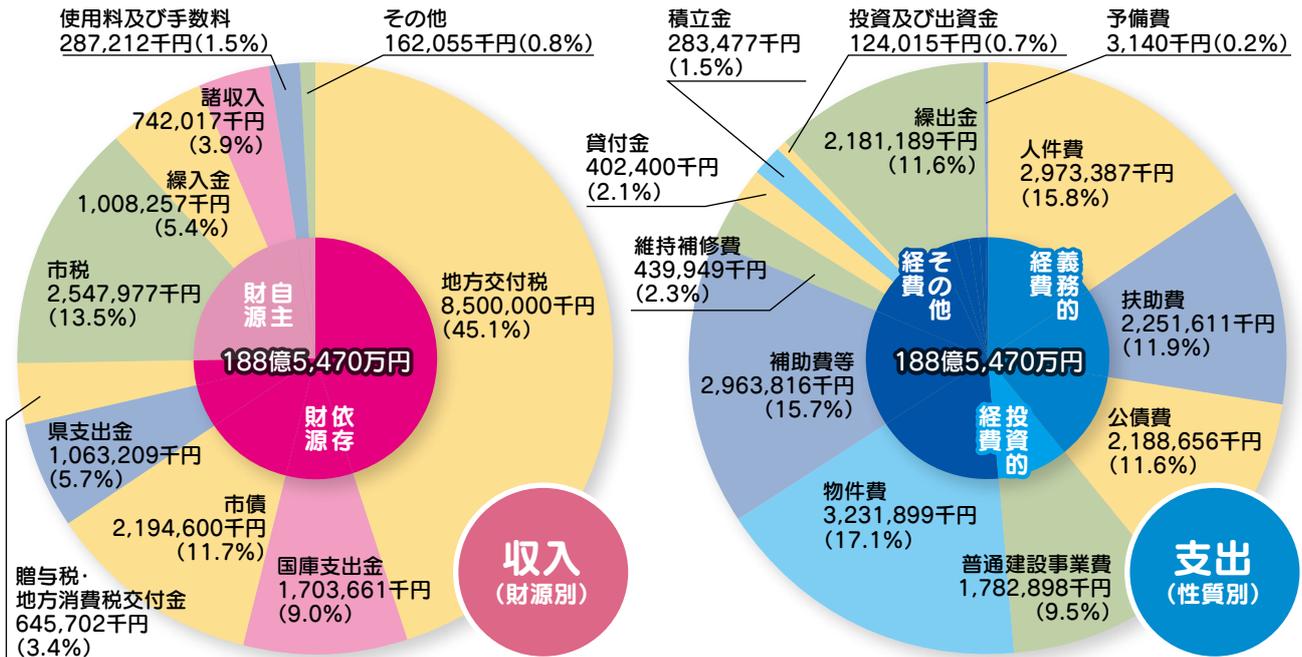
集中管理特別会計	3,565,889
下水道事業特別会計	757,801
集落排水事業特別会計	375,356
浄化槽事業特別会計	95,015
国民健康保険特別会計(事業勘定)	3,688,504
国民健康保険特別会計(田沢診療施設勘定)	24,332
国民健康保険特別会計(神代診療施設勘定)	96,902
後期高齢者医療特別会計	288,507
介護保険特別会計	453,873
生保内財産区特別会計	73,490
田沢財産区特別会計	34,000
雲沢財産区特別会計	3,991
簡易水道事業特別会計(水道事業会計に移行)	
病院事業会計	5,653,862
温泉事業会計	77,669
水道事業会計	1,136,413
合計	16,325,600

(注)企業会計については、収益的支出及び資本的支出の合算額を記載した。

クニマス未来館建設設計業者 渡辺佐文設計事務所が 設計違算賠償金の支払いを拒否

クニマス未来館(仮称)の設計業務を依頼していた渡辺佐文設計事務所(秋田市山王)による当該設計の資材等の積算に常識外の多数の違算と設計もれが入札公示後に発覚した。当局と議会で善後策を協議する中で、当該設計事務所から違算による損害額と営業遅延による損害額を賠償する旨の約束が得られたとして、賠償金相当額2,102万円を補正予算に計上した。しかし、約束した期日になっても当該事務所からの送金がなく、確認したところ先方の依頼した弁護士を通じて支払いを拒否し、訴訟に持ち込む旨の通告があったという。なぜ支払いの約束を取り付けた時点で念書も取らずに法的根拠の薄い覚書で合意してしまったのか。こうした不手際は(株)食品工業の一方的な本市進出予定反古事案と酷似しており、明らかに覚書では不十分と予測できたケースであり、執行部の行政管理の未熟さと統治能力の欠如をまた露呈したと言わざるを得ない。

社会保障費が増大し税収が落ち込む中、財政硬直をどう避ける



平成29年度当初予算総額 一般会計予算**188億5,470万円** 特別

本定例会の焦点概要説明

本定例会は庁舎問題や、クニマス未来館（仮称）条例の委員会否決等々多くの問題点を抱えた定例会になった。焦点としては一般会計の「総合給食センター建設事業費」4,689万円に対し、建設場所の提示の仕方や除雪スペースの設計への盛り込み等、具体性を欠き、基本計画が甘すぎるとして事務的経費19万8千円を残して修正可決した。

庁舎問題は角館地区3団体から、角館総合支所の建設地をJR角館駅前にして欲しいとのほぼ同一主旨の請願3本の取り扱いが注視された。全員協議会や総務文教常任委員会に多くの傍聴者があり、庁舎建設予定地に対する市民の関心の深さがうかがわれた。採決は、所管委員会では賛成者なしで不採択となり、本会議でも賛成者少数で不採択になった。

一方「田町山」建設案に係わる調査費は賛成多数で可決され、建設規模におお異論があるものの、角館支所田町山建設案が現実味を帯びてきた。

さらにクニマス未来館の条例案が総務文教常任委員会で渡辺佐文設計事務所の賠償金の支払い拒否問題もあり、賛成者少数で否決されたが一方で付帯案件と言うべき管理運営費1,823万円を可決しており、その矛盾点や否決されると建物や外構工事が完成しても開館できない状況に陥り、これまでの議決や渡辺佐文設計への開館遅延請求にも矛盾が生じるおそれもあり、本会議では賛成多数で可決となったが、そもそも有資格者がいなくて建設設計の積算ができない当局にも問題があり、事後対応にも大きな問題があった。議会側としても委員会のあり方や議論の浅薄さが問題視され汚点を残す結果となった。

可決された 主な議案・意見書

(一般会計予算関係は除く)

- ・仙北市幼保連携型認定こども園条例制定案
- ・仙北市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定案
- ・仙北市農業委員会委員候補者選考委員会条例制定案
- ・水道事業統合等に伴う関係条例の整備等に関する条例制定案
- ・仙北市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定案
- ・仙北市税条例の一部を改正する条例の制定案
- ・仙北市病院事業使用量及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定案
- ・仙北市居宅介護支援事業所条例を廃止する条例制定案

予算常任委員会

平成29年度仙北市一般会計予算

予算委員会は、付託を受けた平成29年度一般会計予算、平成28年度一般会計補正予算について、3月7日議案質疑、8日～10日の3日間は各分会審査、14日は各分科会審査報告、15日には討論採決が行われた。

修正案が2件提出される

「総合給食センター建設事業費4,689万8千円を19万8千円に減額する」修正案

学校の適正配置の進み具合と併せて進行すべきである等の理由から、建設自体には反対しないが、議会へ明確に答弁できない部分がある為、基本設計と地質調査にかかる委託経費を減額する。検討する為の経費は減額しないので、今一度、基本計画の精査と明確な説明ができるよう進めていただきたい。

小林委員ほか1名からの修正案

荒木田委員の修正案に加え、予算規模や具体的構想に乏しく、体育館建設ビジョンが不明瞭である等により「仙北市総合体育館建設事業費542万円を減額する」。更に角館庁舎の移転建設にあたり、町内会や地域代表から建設地を駅前を求める請願書が提出されている。又、山の上でなく平地に建設して欲しいという住民要望に答えるべきである等により「庁舎整備事業費1,055万2千円を減額する」修正案。

採決

- 総合給食センターの減額修正案は、採決の結果、賛成多数で可決されました。
- 総合体育館建設事業費と庁舎整備事業費の減額修正案については、反対討論があり、採決の結果、賛成少数で否決されました。
- 原案に対しては、反対討論があり、賛成多数で一般会計総額を、198億円から188億5,470万円に修正すべきものと決定。

平成28年度一般会計補正予算

2人の委員から反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決されました。

議決結果/議員賛否 (平成29年 第1回 仙北市議会定例会(招集日:2/23 最終日:3/17))

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退場 欠→欠席 (議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	氏名	議決月日	議決結果	党及び会派に属しない議員																公明党	共産党
					佐藤大成	高橋豪	門脇民夫	田口寿宣	大石温基	阿部則比古	黒沢龍己	小田嶋忠	荒木田俊一	安藤武	小林幸悦	伊藤邦彦	眞崎寿浩	八柳良太郎	高久昭二	稲田修		
議案第1号	仙北市田沢湖クニマス未来館条例制定について		3.17	可決	反	賛	賛	賛	退	反	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
議案第2号	仙北市思い出の漏分校条例制定について修正案		3.17	可決	賛	賛	賛	賛	退	反	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第3号	仙北市田沢湖クニマス未来館等観覧料の特例に関する条例制定について		3.17	可決	反	賛	賛	賛	退	反	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
議案第7号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定について		3.17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	反
議案第15号	仙北市高等学校入学準備金貸付条例の一部を改正する条例の制定について		3.17	否決	賛	反	賛	反	反	反	反	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	反
議案第20号	仙北市田沢湖郷土史料館条例を廃止する条例制定について		3.17	可決	反	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	欠	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛
議案第24号	平成29年度仙北市一般会計予算 修正案		3.17	可決	反	反	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛	欠	反	賛	賛	退	反	賛	賛	反
議案第29号	平成29年度仙北市国民健康保険特別会計予算		3.17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	反
議案第39号	平成28年度仙北市一般会計補正予算(第7号)		3.17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	反
議案第44号	平成28年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		3.17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
請願第1号	仙北市役所角館庁舎をJR角館駅前に建設することを求める請願書		3.17	不採択	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	欠	賛	反	反	賛	反	反	反	反
請願第2号	角館庁舎の建設に関する請願書		3.17	不採択	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	欠	賛	反	反	賛	反	反	反	反
請願第3号	仙北市役所角館庁舎建替えについての請願書		3.17	不採択	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	欠	賛	反	反	賛	反	反	反	反

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

総合給食センター基本計画は適正なのか



荒木田 俊一 議員

教育長 市所有地を候補地として検討したものである

ユニバーサルツーリズムへの取組みの課題と進め方について

質問 ユニバーサルツーリズムへの取組みの課題と進め方は現状で良いのか。

答弁 推進のために地域おこし協力隊員が2月から観光課で職務を開始している。

一番の課題として、市民や民間の方々から協力を頂いたが、市民を支える立場の市役所が、行動を起こすことが重要で、職員の意識転換を進めていく。それを見て理解していただける状況をつくってきたい。



■総合給食センター建設候補地の西木工業団地内

総合給食センター基本計画は適正なのか

質問 総合給食センター基本計画について伺う。この計画と市内学校適正配置はリンクしないのか。

適正配置の計画後に、給食センター計画があるべきと思うがどうか。

答弁（教育長） 学校統合等の再編が行われる可能性はあるが、提供食数に変動はないと現時点では考えている。学校数の減少が今後考えられる。

配送ルートの変更、食缶とかコンテナ数の変更が必要となってくるので、しっかり考



■築30年の角館給食センター

えていく。

これらについては、基本設計の段階、政策策定段階で、学校適正配置の計画とリンクして対応していきたい。

質問 28年12月作成された基本計画の表記に、現在使用している角館病院の場所を、跡地として表記している。建設候補地としてあげている4ヶ所には、建設不可能な場所が3ヶ所含まれている。

この基本計画は適正なのか。この程度の計画で、13億円ともいわれている事業がスタートできるのか。

答弁（教育長） 基本計画の性格上、市が所有する土地のうち、可能性のある候補地を広く取り上げて、検討したも

のである。

跡地という表記は、公文書と同様の扱いを考えた時に、不適切であり申し訳ない。

質問 病院跡地となる場所には、工場とみなされる給食センターは建てられないのか。私が調べた限りでは、不可能ではないと思うがどうか。

答弁 都市計画上、無理と理解していたが、その後、県の審査会に諮れば不可能ではない事がわかった。しかし、平成32年の合併特例債を目標にしているの、時間的に厳しいと思う。

文化財行政について

質問 市内には、多くの文化財がある。中には古文書の解読グループが、佐竹北家日記を解読している。それらを知ってもらおう努力をしているのか。

答弁（教育長） 文化財に光を当て、市民に理解頂けるような機会を設け、展示等を工夫する。過去に文化財の本を作ろうと取組んだが、写真撮影でストップしている。今後、しっかりと取組んでいきたい。

（熊谷 一夫 記）

用語解説

・ユニバーサルツーリズム…高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが安心して気兼ねなく旅行を楽しむことができる環境。

コンビニ交付サービスの導入を

熊谷一夫 議員

市長

平成30年度の導入に向け準備を進める



■昨年設置された秋田市版ネウボラの案内板

**妊産から子育てまで
ワンストップ窓口
「仙北市版ネウボラ」
の開設を**

質問 妊産から子育てまでの本市における窓口と現状「仙北市版ネウボラ」の開設に関する見解について伺う。

答弁 保健課では、母子手帳の交付を受け、こんにちは赤ちゃん訪問（生後2ヶ月）を実施している。

市民課は医療費助成等、子育て推進課は誕生祝金支給や保育施設を運営している。

家庭援護係では、相談員2名を配置して子育てに関する悩み相談を行っている。昨年

からネウボラ開設に向けて協議が始まり、保健師がネウボラ研修に参加している。分散している各課の業務を集約し、ワンストップのサービス窓口が効果的と思う。

平成29年度中にネウボラの看板を掲げる事ができると思っている。

仙北市の 業務継続計画 (BCP)を策定せよ

質問 昨年の熊本地震では、5市町で本庁舎が崩壊し、被災者支援に支障をきたした。

そこで、本市のBCP策定に関して、以下の6要素と1項目について伺う。

- ①本市の業務継続計画策定は
- ②市長不在時の代行順位と職員の参集体制
- ③本庁舎使用不可能時の代替庁舎の特定
- ④電気、水、食料の確保
- ⑤災害時の多様な通信手段の確保
- ⑥重要な行政データのバックアップ
- ⑦災害時の防災担当者の対応人員

答弁 6要素の各項目については、参集体制や電気・水・食料の確保、バックアップ体制など確保されているが、BCPの策定はできていない。

平成29年度内に6要素の方向性を取りまとめ、各担当課内の調整を図り策定作業を進めていく。

コンビニ交付 サービスの導入を

質問 住民の利便性を高め、ニーズに応える為にもコンビニ

二交付や納付サービスを導入すべきである。総務省の特別交付税措置があるうちにと考えるがどうか。

答弁 マイナンバーカード所有者を対象に、コンビニでの証明書交付や市税収納できるようにする。

システム構築費は、全国平均約1600万円、総事業費の2分の1が特別交付税措置できる平成30年度の導入に向け準備を進める。

小中学校のトイレの 洋式化整備を早急に

質問 本市の小中学校におけるトイレ洋式化率は何か。

学校施設の不便さによりトイレを我慢することは良くない。災害時に避難所ともなる学校のトイレ洋式化整備を早急に進めるべきと考えるがどうか。

答弁（教育長） 市内12校の洋式化率は43.2%。小中学校の義務教育段階で排泄を我慢するような事はあってはならない。

児童生徒、保護者、教職員等の声に耳を傾けて、しっかりと対応していきたい。災害時の避難場所としては、一定の洋式トイレ設備が必要と考える。市長部局、総合防災課とも協議しながら進めていきたい。

（田口寿宜記）



■コンビニで受け取れる各種証明書サービス機（機種の一例）

用語解説

- ・ネウボラ…フィンランド語で「助言の場」の意味。妊産から就学までの相談、支援を切れ目なくサポートするワンストップ窓口。
- ・BCP(業務継続計画)…自然災害、大火災、テロ対策等の緊急事態時に事業活動をいち早く再開し、継続する為に策定する計画。

誰の為の何の為の特区なのか 明確なビジョンを示せ

田口 寿宜 議員



市長 広報等を活用し理解を広めていきたい

雇用創出・企業誘致 と移住・定住・子育て 支援策を

質問 それぞれの施策ではあるが、人口を少しでも増やす上では、有機的に結び付けて展開していく事が求められている。各部課、横のつながりをしっかりと持ち、総合計画・総合戦略との整合性を図りながら強力に進めるべきではないか。

答弁 一つの部局で完結してしまい、他の部局と結合する事で、初めて効果が発揮出来る事に、あまり重きを置いていなかった事に反省している。

人口減少に歯止めを掛ける為には、市はもちろんであるが、市民の皆様のご協力がなければ叶うものではない。仙北市が一体となって本気で立ち向かう事が重要である。

たとえば、職員数が少なくなってもそれを補う組織力を強化して課題の解決に向かいたい。

地方創生・ 近未来技術実証特区 に明確なビジョンを

質問 少なからず税金を投入して取り組んでいる特区。誰の為の何のための特区なのか、明確なビジョンを示さない限り、市民の理解を得る事は難しいと感じる。この事について、当局の所見を伺う。

答弁 国・自治体の連携の下、現在の規制を改革・緩和をし、ビジネス展開がしやすくなる環境をつくる。

その事から生まれた利益は、民間の方々のもものになり、総じて市民の利益につながる



■春の観光シーズン到来(刺巻水ばしろう祭り)

という考え方であるが、実現までには至っていない。

しかし、平成29年度は小さな成功事例を幾つかお見せする事が出来るように取り組みたい。また、特区について、市民の方々との情報共有の場を創ると共に、広報を活用し理解を広めていきたい。

観光振興策を示せ

質問 平成29年度は、本市において多数のイベントが開催され、多くのお客様をお迎えする。単にイベントで終わらせるのではなく、関係機関との連携の下、本市の魅力を最大限伝え、リピーターを増やす事も同時に行うべきと考えらるかどうか。

答弁 これまでの誘客宣伝効果が現れ、通常であれば県庁所在地等で開催される事が多いイベントなどであっても、海外や全国各地からは是非、仙北市で開催したいというオファーを多数いただいている。そうした状況から、仙北

市の魅力が認知されて来ている手応えを感じている。

仙北市を訪れる観光客の方々は勿論、各種大会等でご来場いただく方々に対しても、パンフレット、映像、SNS等を最大限活用すると共に、市民を挙げての真心のこもったおもてなし活動を更に強化をし、単にイベントで終わる事なく、また来ようと思っただけでなく、関係機関と連携をとり継続的に取り組まなければならない。

(八柳良太郎記)



■市民の為になる特区を!(ドローン国際競技会)



平岡 裕子 議員

イベント会場に「こどものえき」を。

市長

何よりも安全・安心が大切。研究させていただく時間をいただきたい。



こどものえき

「こどものえき」の充実を

質問 現在、市には田沢湖図書館をはじめ十三か所に「こどものえき」がある。野外イベントなどに使用できる「簡易こどものえき」を設置できないか。

答弁 サービスの向上対策として多数の施設内への設置が優先されるべきではないかと思う。テントで、おむつ交換台、ベビーキープ、授乳の場所があったりというような事例は、少し研究させていただきたい。

質問 観光案内パンフレット等に、「こどものえき」の掲載がないのは何故か。

答弁 掲載の認識が低かった。縦割り行政の弊害の一端をご指摘いただいたものと深く反省をしている。新たに作成する場合は記載する。

安心な高齢者の暮らしは維持できるのか

質問 4月1日から始まる介護予防・日常生活支援事業は、これまで受けていたサービスは、継続して受けられるのか。

答弁 みなしサービスとして継続して受けられる。

質問 利用者負担はどのようになるのか。

答弁 現行の自己負担額と同額か、それ以下になると思う。これまでの定額制から月の利用回数に応じた支払い方法に改まるので利用者負担が軽減されると予測している。

質問 今後、介護予防に重点を置く施策をとられるが、クリオンプル以外での施設の活用について伺う。

答弁 市民団体の皆様や関係機関と連携を図り、より身近な小さな地域での施設を活用して、介護予防教室・健康講

話・個別相談などの集まりの場を実施していきたい。

質問 高齢者の運転免許証返納後のサポートが必要と思うが、その対策について伺う。

答弁 調査で、うちから出歩く際の交通手段を心配している方が多いことが分かった。今後、公共交通政策が大変重要になる。

予算執行の対応は万全か

質問 依存財源が多い中で、補助金としての支出が多い。事業の検証、精査は適正にされているか。

答弁 継続する補助金は十分な検証を行い、新規のものは十分な精査を行っている。

答弁（代表監査委員） 必要性、有効性、時期、経費の額の妥当性、実績報告書に基づいて精算報告は確実に行われているか審査している。27年度は適正であった。

質問 予算の適正な執行、政策実現には職員の士気の高揚が必要と思う。職員は日常業務に加えイベント開催時の動



3B体操 みんなで楽しく健康づくり

員もある。対応はどうか。

答弁 適正化計画による職員の削減は有効か。

答弁 人事管理上、大変重要な質問と受け止めている。職員が多く業務を抱え込んでいないかなど考慮した上で時間外勤務命令を出し、勤務時間に応じた手当を支給している。休日出勤は、平日に振り替えて休むようにしている。

定員適正化計画通りに削減を進めた場合、果たして、必要な職員数を確保できるか心配である。

（大石温基記）

用語解説

・3B体操…ボールやベル等の用具を使い様々な音楽に合わせて行う体操

市民生活重視の市政に転換を図れ

高久昭二 議員

市長 市民生活を支える市政は同感である

市民生活重視の市政に転換を図れ

質問 日本経済新聞「まちの家計、ここに注目」で、仙北市が国交付税依存率全国5位（49・75％）であり、大型プロジェクト、ハコモノ事業に偏重せず、市民生活重視の姿勢に転換を図るべきでないか。

答弁 市民の足元を照らし、市民生活を支える姿勢は議員と同感である。

子育て支援を前向きに

質問 子育て支援、学校給食費一部助成を12月定例議会で質問したが、前向きに対応できないか。

答弁 給食費滞納問題を踏み越えて、給食費無償化はいいかなものか。再検討が必要である。

高齢者等の交通弱者対策は

質問 高齢者、障害者、運転免許返納者等の通院や買物交通手段確保と高齢者支援策について伺う。

答弁 高齢者支援は西木温泉クリオンプールの4月開業による健康増進と、今後高齢者の温泉入浴無料化に向け検討したい。更に、市立角館総合病院開業時、民間バス事業、デマンド型乗合タクシーの利便性を高め、運転免許返納者向け循環無料バス運行等検討したい。

「角館冬がたり」の対応はいかに

質問 角館冬季観光の目玉である武家屋敷、岩橋家の「角館冬がたり」について、角館歴史案内人組合へ市職員から

突然「正面入口は身分、位の高い方だけが使用していた。」更に、お金にからむ言動をされたので活動が一時休止された事をどう考えるか。
答弁 教育委員会の認識の欠落、不適切な言動により、多くの方々にご迷惑をお掛けしお詫びする。

角館小学校放課後児童クラブへの通所安全対策は

質問 角館小学校放課後児童クラブ1年生をスマイルバスで児童館へ送ることを3月で休止するのか。

答弁 角館小学校児童クラブ全員の安全が確保されるよう、バス利用について、今後検討したい。

クニマス未来館を設計した事務所の違算・遅延損害金の支払いは

質問 クニマス未来館を設計した事務所の違算・遅延損害金（2102万円）について、昨年「覚書」が双方で交わさ

れたが、いまだ仙北市に支払われず、逆に設計事務所から弁護士を通じ支払拒否回答書が市に提出された。今後、徴収に向け、どう対応するか。
答弁 市、設計事務所双方が交わした「覚書」は社会通念上、設計事務所が支払い、負担を約束した内容であり、今後、市の顧問弁護士と協議し対処したい。

（門脇 民夫記）



■「角館冬がたり」歴史案内人組合との協議を



■完成が待たれるクニマス未来館



門脇民夫 議員

道の駅開設の動きが見えないのは何故か

市長

今年度、道の駅や直売施設の課題の調査・分析を行う

羽根ヶ台地区に道の駅を

質問 道の駅開設について、昨年の9月市内の方々から議会に請願書が提出され採択している。これまで何人かの議員が開設についての一般質問をした。その都度市長は前向きに検討すると答弁してきたが、開設に向けての動きが見えないのは何故か。

答弁 以前道の駅構想については、国道105号線沿いの既存施設について担当官を招いて勉強会を実施したが事業化は厳しいとの話があった。昨年の請願書は道の駅に付帯する直売施設に関するものが願意と理解している。直売施設は観光振興や交流人口の増加などに経済好循環の可能性がある。29年度はこうした課題について調査・分析を行って次の段階に進んでいきたい。

質問 県は船舶によっても国外からの観光客の誘致を図ろうと、秋田港に大型クルーズ船が容易に接岸できる埠頭の整備を進めるとしており、今年度は24回のクルーズ船の来港が予定されている。クルーズ船の乗客はバスで県内を巡

る。バスの駐車場を含め多数の観光客を受け入れる昼食施設が市内にはないので道の駅を開設して整備を進めるべきでないか。

答弁 県が進めるクルーズ船の寄港による観光客の移動はバスが考えられる。バス駐車場として桜並木駐車場、田沢湖畔駐車場、民間駐車場等で対応が可能ではないかと考えている。これらの駐車場での対応ができなくなるのは5年以上先と考えている。市が現在取り組もうとしている道の駅・直売施設の調査・検討では、駐車場スペースについても検討が必要と思っている。



道の駅の開設に向けて（神代羽根ヶ台地区）

学校適正化配置に関する提言書について

質問 学校は災害時の避難場所や防災拠点としての役割を果している。加えて運動会や発表会等で地域のコミュニケーションや活性化に大きく寄与し、地域の核としての役割も果しており、行政効率だけではない総合的な地域づくりの拠点としての役割等について広く地域住民からの意見を学校適正化配置計画に反映するべきでないか。

答弁 学校が地域の防災拠点や活性化にはたしている。役割について十分考慮することは大変重要な視点であり、行政効率を盾とした議論など、あつてもよいはずはないと強い思いを持っている。しかし、これらが、児童生徒の教育環境より、さらに優先して考慮すべき項目であるかといえは、私はそうではないと思う。何よりも大切なことは児童生徒の教育環境を第一に考慮することが、一番に重要な判断材料になるべきでないかとの思いを持っている。

（伊藤邦彦記）



学校は地域のコミュニケーションの場と活動拠点

球春、来たる。
落合球場の不備の改修を急げ

伊藤 邦彦 議員



市長 29年度予算で早期に対応する。

市営落合球場の整備
は怎么样了ののか

質問 昨年9月議会の一般質問の中で、同球場の飲料水の不具合により、各種大会が開催できないという問題とカウントボードがいまだに改修に至っていない問題を質問した。平成29年度当初予算に反映されたのか。

答弁 2つの問題を改善すべく、どちらの改修費も新年度予算に計上している。飲料水に関しては新角館総合病院付近から延伸する計画である。

質問 大曲仙北地区には、9つの公認球場があるが、電光掲示板が整っていないのは、我が市の2球場のみである。誠にさみしい限りだ。

この度の落合球場の改修に向けた基本設計に組み入れられないのか。

答弁 落合球場の施設の機能診断を行い、改修に向けた基本設計を作成したいと考えている。電光掲示板についても財源を含め、検討したい。



■早期改修が待たれる落合球場

神代地区の飲料水問題の改善は

質問 飲料水で長きにわたり

ご苦労のあった神代地区。その苦勞を解消するために合併以来西明寺低区浄水場から神代地区に給水工事が行われている。西明寺低区浄水場で神代地区をどこまでカバー出来るのか。

答弁 現段階では岡崎・東前郷・角館東前郷の一部、梅沢地区の一部まで進んできています。

また、今年度に機構改革による限界水量の基準見直しがある

なされ、神代中学校、未給水地域として残っていた角館東前郷地域の一部が全て西明寺浄水場から給水可能となる。

質問 未普及地区解消の為に水源地をどこに求めるのか。抱返り溪谷に奥羽山脈から流れ落ちる有望な水源があると聞くが、検討したのか。

答弁 神代黒倉地区に優秀な水源地を確保している。水質検査でマンガンが含まれることを確認しているが、現在の高性能ろ過器で問題はクリアできると確信している。

質問 神代地区全域に良水が行き渡るには、あと何年かかるのか。

答弁 まだまだ解決しなければならぬ課題は多い。残った生田・小松地区をどのようにするのか。また、企業会計であることから加入率・採算性等の問題もある。それらをクリアしながら、平成36年度を目途に完成を急ぎたいと思っている。

カヌーコースは
広久内地区の方が
適地ではないのか

質問 生保内カヌーコースは過去に2度豪雨による流失の被害を受けている。この事情により関係団体から角館広久内(あきた芸術村)付近に移転の要望書が出されている。

それにもかかわらず、3度同じ場所にコースが作られている。その経緯について伺う。

答弁 私も同感であり、要望に添うべく努力をした。しかし、仙北地域振興局からは「河川に構造物を作ることは許可できない」との回答であった。誠に残念である。

(佐藤 大成記)



■カヌーコース実現にむけて(広久内地区)

総務文教常任委員会

平成29年度一般会計予算

主な内容	ふるさと仙北応援寄付積立金	1億1万円	ふるさと納税の積立金
	仙北市総合体育館建設事業費	542万円	基本設計の調査費
	総合給食センター建設事業費	4,689万円	基本・実施設計・地質調査の予算

平成29年度予算 主な質疑
**ここが知りたい
 議論のポイント**

質問 前年に比べてふるさと納税の寄付額が低調だった。どのようにして改善を図るのか。

答弁 平成29年1月現在で寄付件数は3,622件(前年比67、2%)、寄付金額は5,572万円(前年比75、3%)である。減少理由には、ふるさと納税の競争激化がある。

29年度の具体的な取り組みとしては、リピーター確保のための挨拶状の送付と、すかいらーくグループでのPRを年2回実施する他、高額な返礼品の対応強化、新商品の拡大、インターネット上の紹介ページの強化、市外からの来場者の多いイベントでの広報活動を行う予定である。

質問 総合体育館構想の進捗状況と財源内訳は。

答弁 平成28年に調査検討委員会が設立され、提言の取りまとめが行われている。マスタープランの中でも、床面積

や規模についても検討を行っている。財源は、合併特例債、スポーツ振興くじ、文科省関係の補助金を検討している。合併特例債の期限を考えると、時間的余裕はあまりない状況である。

質問 総合給食センター建設で提示された資料は不備が多く不満を感じる。この資料で基本設計・実施設計まで本当に可能なのか。

答弁 今までに提示した資料を叩き台として、基本設計・実施設計を行っていきたい。

今後、計画立案の為の新たな資料等を作る予定である。

質問 建設予定地は、西木工業団地という説明だが、位置はどこか。

答弁 排水の関係で、西木工業団地の南端付近を想定している。



閉館される田沢湖郷土史料館

条例案等の審査

クニマス未来館関連等の合計4議案を否決

主な討論

- ・クニマス未来館の業務や観覧料設定にさらなる検討が必要である。
- ・市内の観光事業を展開する企業が「あきた」と名を冠した名称に変更した例などから、クニマス未来館にも「あきた」を冠することを検討し、修正するべきである。
- ・田沢湖郷土史料館の展示物の行き先が全て決まってから閉館すべきであり、時期尚早である。
- ・貸与した高校入学準備金の収納率を上げることが目的であれば、貸与者を変更する必要性はないと考える。今の改正を早急に行う必要はない。

JR角館駅前に角館庁舎建設を求める請願3件を不採択

- ・請願の趣旨は十分に理解できるが、私有地に建てるとなると財政的な面で難しい。
- ・賑わいのあるところに建設するという考えは賛成できるし、市有地で良好なところがあれば望ましいと思う。しかし、駅前には私有地であり建設が困難だと思う。

市民福祉常任委員会

平成29年度一般会計予算

主な内容

温泉休養施設管理運営費

241,244千円

西木温泉クリオンへのエレベーター設置及び更衣室増築工事。

障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業費補助金

234,844千円

社会福祉法人水交会が運営する障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業に対する仙北市分の助成。

医師確保対策事業費

28,088千円

医師等医療スタッフの招聘活動の推進。また、将来指定医療機関に勤務しようとする意志を有する学生に修学資金を貸与し、医師等医療スタッフの充実を図る。

ここが知りたい
議論のポイント

平成29年度予算 主な質疑

質問 プール及びエレベーターの維持管理費はどのようになるのか。

答弁 クリオンの指定管理委託料が、プールやクリオンの建物と合わせ4,830万4,000円である。その中でプール分が1,172万円で、プール清掃等その他経費が含まれている。また、この額にエレベーター保守料66万円も含まれている。エレベーターはフルメンテナンス契約で月額5万5000円である。なお、プールの修繕については、今後10年間は大丈夫だろうという事であった。

質問 障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改修事業費補助金に関連し、総事業費はどのくらいか。

答弁 総額12億8,823万9,480円で、構成市町の負担金が11億1,423万8,000円である。この内仙北市分は2億3,484万4,000円である。

質問 医師確保対策の結果が出る。

ていない。両病院の院長とも連携しながら進めるべきではないか。

答弁 市長は医師確保対策の出張以外でも、その情報を得る為に、医療関係機関等に寄って来る事もある。医師確保の為だけにいく場合は、医療局あるいは両病院からも同行している。大病院にいく場合でも、管理者、医療局関係者が同行し、院長が同行する場合もある。専門の医師が同行した場合が良い時には、同行をお願いしている。

質問 医師等修学資金貸付金について、貸付後のフォローはしっかりと行っているか。

答弁 現在年2回、貸付をしている医学生、看護学生等と交流会を行っている。

秋田大学の学生とは秋田市で、その他の大学の方々は夏休みに帰られた際に、様々な情報交換をして学生との交流を行っている。



一層の経営改善が求められる田沢湖病院

主な議案

平成29年度 仙北市病院事業会計予算

質問 田沢湖病院は一般会計からの基準外繰入として1億円の補助金がでている。来年度以降も繰入を続けていくのか。

答弁 今年度から病院運営安定化資金として一般会計から1億円をいただいている。運営安定化の一つは資金不足を解消する事で、現在は、一時借入金で5億円を超えており、その元金と利息が経営を圧迫している。医療局、両病院は一緒の会計になっており、田沢湖病院の資金不足比率は病院事業全体に影響を及ぼす状況になっている。これを回避したい思いで、1億円の繰入を5年間行うという経営安定化計画である。その中で経営改善を進めながら、なるべく早い段階で支援をいただかなくても良い形にしたい。

産業建設常任委員会

平成29年度 一般会計予算

主な内容	畜産環境総合整備事業費	2億333万円
	国の畜産整備事業により堆肥処理場を建設。年度内完成予定。	
	観光施設整備事業費	1,865万円
	玉川・抱返り渓谷歩道改修や駒ヶ岳山道改修設計仙北市分の負担金や瀧尻公衆トイレ移転整備	
	角館祭りの山行事公開展示事業費	16万円
曳山の通年展示を検討する。		
冬期交通対策費	3億6,382万円	
市道等の除排雪により冬期間の適正な交通を確保する。		
落合球場整備事業費	1,974万円	
落合公園運動施設改修調査基本設計、給水管引き込み工事を実施		

質問 曳山の展示する場所は検討しているのか。

答弁 人の流れが、武家屋敷から外町に呼び込めるようにしたい。

質問 冬の除排雪関連予算が当初予算に計上された理由は。

答弁 例年、当初予算に計上していた。査定段階で9月補正予算対応となっていた。

質問 農業委員の資格や女性農業委員の数は。

答弁 認定農業者が過半を占めることとする。女性・青年農業委員のバランスを考慮し、女性は、最低でも一人は確保したい。

質問 推進委員は、誰が選ぶのか。

答弁 公募により、農業委員会が選ぶことになる。

質問 選考委員は、誰が選び、対象となる人は。委員会の回数。

答弁 市長が任命する。対象は、市外では、仙北地域振興局農林部、県農業会議、市内では農業委員経験者、農林部長経験者、農業委員会事務局長経験者を想定している。農業委員の任期が3年なので、任期内1回の開催予定である。

ここが知りたい
議論のポイント
平成29年度予算 主な質疑

仙北市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について

農業委員の選出方法が、公職選挙法に基づくものから市長が議会の同意を得て、任命する方法に改めることになる。農業委員は17名、推進委員は20名とする。

仙北市農業委員会委員候補者選考委員会条例について

推薦を受けた者、募集に応募した者のうちから候補者を選考するため、選考委員会を置く。
委員は7名以内、任期は3年とする。

請願を採択

市道神代西明寺線道路改良工事に関する請願書

通学児童の安全確保や地域住民の安全確保のため、歩道境界ブロックやグリーンベルトの設置のほか、側溝法面の拡幅工事、ガードレールなどの安全対策を求めるもの。



■解体予定の角館総合技能センター



～いきいき広場～
角館あきんど塾
 はじめましてから
 はじめましょうプロジェクト

プロジェクトリーダー
千葉清美

角館町上野 10-15
 (090-9636-0928)

活動方針

結婚の意思が明確な未婚者に対し、継続的な出会いを提供したいと考えています。「美味しい料理」と「愉快的対話」が、このイベントの重要な要素です。

活動内容

こうしたイベントへ関心のある方に、あらかじめエントリーしていただき、Facebookページ「はじめましてからはじめましょう」にエントリーフォームがございます。参加が確定した男女各5名には、飲食店を貸し切りにした状態でお会いしていただきます。

活動を始めたきっかけ

結婚相談を生業としている事業者を除くと、これまでの婚活イベントは一回限りで終わるケースがほとんどでした。これを年に複数回、さらに期限を決めず続けていくことで、参加希望者にも複数回のチャンスをご提供できると考えています。

これまでの活動

2016年7月、同11月、2017年の最初は4月の開催を予定しています。

国、県、市に望むこと

基本的にございません。角館あきんど塾の会員がそれぞれの持ち味を活かし、出来るだけお力ネと手間のかからない方策を講じることで、未永く続けられると考えています。

議会の「桜プロジェクト」始動

市議会観光振興議員連盟(会長、青柳議長)は4月12日、神代の抱き返り溪谷臨時駐車場付近で桜の植樹を行った。桜によるまちづくりで市内全域の観光振興を目指す議員連盟の「桜プロジェクト」の一環である。植樹は「神代地域運営体」会員等も参加し、濃いピンクの花が特徴のジンダイアケボノの苗が植えられた。今後も市内全域で住民と打ち合わせをした上で、植樹を行う方針である。



■植樹したメンバー



■一組でも多くのゴールインを!

控室

「クニマス未来館」 もつと早くに…

29年第1回定例会議案第1号に「仙北市田沢湖クニマス未来館条例」が上程された。

「クニマス」に「ロマン」を感じる人はいるだろう。しかし、ピンとこない人も多いだろうと思う。

「時期尚早である」「未来館を建ててもランニングコスト(約1千五百万円)がペイしない。」

県が各市町村と協働による未来づくりをする為、事業費の半額(2億円)を補助として支出するもの。市では「クニマス未来館」建設の関係予算に使用した。

担当委員会の総務文教委員会は条例案を否と決した。

本会議採決は委員会の結果を尊重することが議会の慣例であったから、このままいけば本会議でも条例案は否決される。

委員会で否と決した主な理由は次の通りである。

★臨時職員を採用し秋田県と山梨県で2ヶ月間の講習の後、クニマス未来館でクニマスの飼育に当たるとの事だが、生態がわからず難しいと言われるクニマスの飼育には専門家を採用すべきである。

★国内外の方々から来ていただく為、条例の最初に仙北市でなく秋田とすべ

きである。

クニマス未来館は7月1日開業に向け建物は完成間近となっているが、条例案が否決されると一般会計に提案されている運営予算は凍結になる可能性が高い。

本会議採決前に「議事進行」をかけた二度の休憩をはさみ、この取り扱いを協議することにした。

議員全員で臨み各々の意見、主張を出し合い「市議会」としての方針を協議した。

「今ここにきて反対するのでなくもつと早くに意思表示すべきである」

「何でも賛成する雰囲気は反省するべきだ」「これまでさまざまな団体の関係がありここまで来た。今ここで予算凍結は失礼ではないか」「クニマスの飼育については、内水面試験場を退職した専門家を採用しているのになぜ説明しなかったのか」等々。結果、本会議では逆転し可決となった。

『議事進行』中の各位の発言を集約すれば、あたかも「今」でなく、「もつと早く」に否決すべきであったかのごとくであったが、予算は凍結を免れ、観光面で市民に大きな希望となりました。

(八柳良太郎記)

平成29年3月議会

人事案件(敬称略)

田沢財産区管理委員 同意

千葉 栄幸 (62歳) 寺下

藤原 修 (68歳) 大山

羽根川 覺 (72歳) 先達

千葉 恒昭 (72歳) 打野

人権擁護委員 推薦

茂木 一代 (55歳)

角館町小勝田中川原1-1-1番地30

◎記事訂正のお詫び

平成29年2月15日発行の議会だよりNo.45号の人事欄人権擁護委員の名字に誤りがありました。お詫びを申し上げ訂正させていただきます。

人権擁護委員

伊藤和子(誤)↓伊東和子(正)

編集後記

今議会では、常任委員会を含め条例案の修正や否決、予算案の修正が相次ぎ提出された。

高校入学準備金貸付条例の一部を改正する議案では、現在高校生学準備金借用の契約者は親で返済率が17%と低率である。他の市町村では契約者を本人、親を保証人とし卒業後の返還について自覚を持っていただいているため返済率ももつと高くなっている。本市も他市町村と同様に改正をとる提案であったが、本人の使用する準備金といながらも、契約時まだ若いので将来を考えるとかがなものが。徴収率だけだとすれば連帯保証人等で改善できるとして否決された。また、予算の修正案については、定例議会前の協議会において不備事項を指摘したが、失念し是正しないまま提出したため、不備事項に係わる部分の平成29年度予算を削減する修正案が提出され、賛成多数で可決された。

一事が万事、職務に対する緊張感の欠如や責任感の不備が招いた議案の否決や修正であり猛省すべきである。

(門脇民夫記)